

ゴマ栽培に利用できるトリフルラリン乳剤の除草効果

利用対象：ゴマ生産経営体、指導機関

目的：三重県では実需者との連携によりゴマの生産拡大に取り組んでいますが、登録除草剤がなく生産振興上の問題となっていました。そこで一年生雑草に効果が高いとされる除草剤トリフルラリン乳剤（商品名トレファノサイド乳剤）の除草効果およびゴマへの薬害について明らかにし、ゴマに利用できる除草剤としての登録拡大を目指しました。

成果：メヒシバ、イヌビエ、オヒシバ等のイネ科雑草に対して除草効果が認められました。一方、一年生非イネ科雑草のうち、タカサブロウ、オオイヌタデに対しては除草効果が認められましたが、エノキグサやヒユ科雑草に対しては年次により除草効果が安定しない場合があります。なお、ゴマ第一本葉に縮葉の症状が発生することがありますが、その後のゴマの生育や収量への影響は認められません。

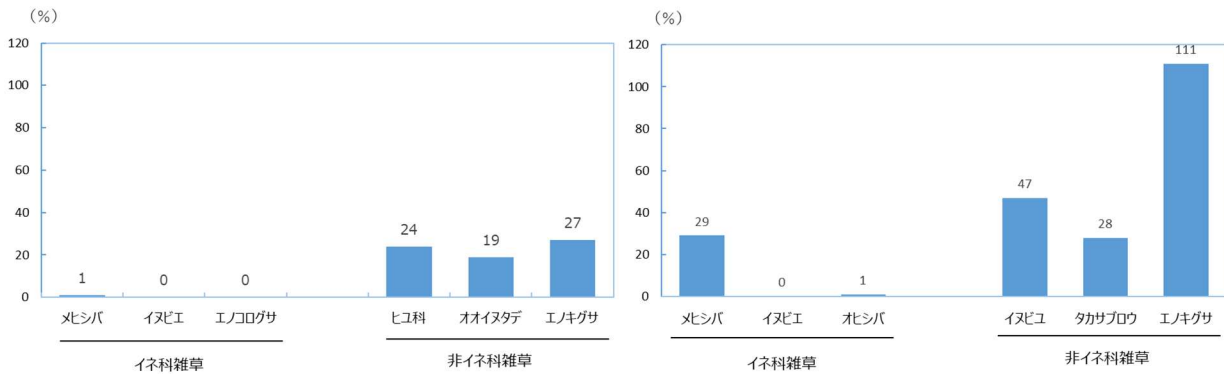


図1 トリフルラリン乳剤の除草効果 (左：2018年、右：2019年)
(各バー上の数字は、無処理区に対する処理区の残草重比を示す)



図2 トリフルラリン乳剤によるゴマの薬害症状 (左 健全個体、右 薬害個体)

表1 トリフルラリン乳剤処理がゴマの生育や収量に及ぼす影響

年度	試験区名	生育調査		収量調査	
		苗立数 (本/m ²)	主茎長 (cm)	収量 (kg/10a)	同左 比率
2018	処理区	5.2	23.3	86.4	93
	完全除草区	5.7	21.8	92.6	100
2019	処理区	7.7	5.3	73.0	114
	完全除草区	6.6	5.3	63.9	100

活用面および留意点：

- ・トリフルラリン乳剤は令和2年作のゴマ栽培から利用可能となりました。
- ・一部の一年生非イネ科雑草に対しては除草効果が十分でない場合があるため、中耕培土等と組み合わせた除草体系にて防除を徹底してください。

お問い合わせ先	生産技術研究室 農産研究課 山川智大 電話 0598-42-6359 中央農業改良普及センター 田畑茂樹 電話 0598-42-6323
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm